環境パートナーシップちば だより

Vol.2

編　集　環境パートナーシップちば
責任者　鈴　木　優　子
事務局　千葉市中央区中央4-12-12
金剛ビル５Ｆ
㈶千葉県環境財団 環境学習推進室
電　話　043-224-2691

―つながれ　ひろがれ―

パートナーシップコラム

新年を迎えて

副代表　深尾　秀次

あけましておめでとうございます。

皆様にはよい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は市場経済・政治も混沌として元気のでない一年でしたが、私達は視点を変えた立場で、地球規模の環境について身近な問題から、大きく・広く、様々な活動をして輪を広げていきましょう。『環境パートナーシップちば』も６月に産声を上げてから、「千葉県の環境行政」（８月）「知ろうダイオキシン」のフォーラム(12月)を開催し、エコメッセちばにも協賛し多くの会員と市民の皆様に参加して頂きました。

今年は、企画部会の更なる充実・研修部会は会員相互の学習会と現場見学・広報部会は、機関紙をより多く（回数・部数）発行し、皆様からの企画への要望・提案、同種の会の連合・会員相互のイベント紹介等も盛り込んで皆様との接点を強化していきます。当会は、市民・企業・行政と問題提起はしながらも、共生・対話型の姿勢を崩さず、企画運営をしてまいります。(財)千葉県環境財団のご指導ご支援を頂きながら、市民主導型の団体として、ステップアップしていきます。

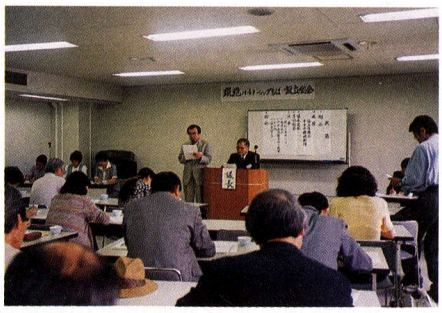
新しい年はトラ年です。皆さんで大きく飛躍致しましょう。

ダイオキシンフォーラムを終えて

企画部長　大西　優子

昨年12月６日、千葉県教育会館に於いて137名の参加で「知ろうダイオキシン」フォーラムを開催しました。

環境庁大気規制課宮崎正信課長補佐、千葉県環境調整課計画係床並道昭係長の行政の対策と現状、その後、エコマインドパートⅡ田口迪夫氏の市民が集めた資料の紹介、扇屋ジャスコ入江正了氏・サッポロビール千葉工場井上弘之氏のごみ問題への努力、君津市鈴木喜計氏の測定方法の問題点、リサイクルグループ「かもめ」永島輝代氏の御宿町住民の取り組みの事例発表がありました。



活発な意見交換があり、最後に鈴木代表が「解決に向けて市民参加のシステム、情報公開を求める提案があった。リサイクル社会の仕組みを作ることが大切。自然界に与える影響を考えると、人間の品位としてダイオキシン削減に取り組んでいかなければならない。」とまとめ、熱気あふれたフォーラムを終了しました。

温暖化防止京都会議における環境NGOの動き

栗原　裕治

私たち二人は、CO_2排出量の少ない電車をもう一度見直そうと、品川から京都に向けて出発したアーストレインに乗り込んだ。参加者の発言や報告と、多数の報道関係者で大いに盛り上がった。京都市内の様子は、特別な国際会議が催されるといった雰囲気はなく、市民の関心は今一つのように感じられた。一方、各種イベント会場は熱気があり、市役所前にはNGOが集結し、列島縦横エコリレーとも遭遇した。「地球温暖化防止国際ＮＧＯシンポジウム」には、各国のNPOや政府代表も多く見られた。

京都会議の印象は、最先端の情報戦争だということである。開発途上国からは先進国へ、NGOからは日本の通産省への批判が聞かれたが、全体的にはどのようなデータを根拠に、どこで、どのような話し合いが行われているのか、はっきりした姿がなかなか見えてこない。情報収集スタッフの少ない発展途上国や環境NGOには見えないところでものごとが決まっていくことに対する苛立ちが早くも見られた。

御宿町ECアースレンジャージュニア

子どもらの輝く瞳と共に　　サポーター代表　永島　輝代

ＥＣアースレンジャージュニアは、1993年リサイクルグループ「かもめ」の「ぼくら地球っ子セミナー」としてスタートした。町・町教育委員会・ＰＴＡ連協の後援ももらい、小学３～６年生を対象に体験学習を中心に展開している。

共に考え行動する糸口を発見し、アクションにつなげていかねばと考えたからでもあり、大人社会への相乗効果もねらってのことであった。当初の25名から今年は46名に増え、エコクラブにも登録した。人気の広がりが親たちへの関心にも連なっているようだ。

今年取り組んだ「ケナフ」の栽培と紙スキの実践学習は、トレーニング学習から主体的なアクションスタイルへの転換を考えていた矢先のタイムリーな出会いであった。植物栽培から収穫・紙づくりの工程・利用法・緑を守ることは…、山のようなテーマを抱え奮闘した６ヶ月であったが、大変な作業をついにやり遂げた「達成感」があった。「書けたー！」と絵手紙を完成させた子供らの声とキラキラした瞳は私達への暗黙のメッセージの様に響いた。体験の発表を契機に、アースレンジャーの活動は本気だぞと親達が気づいてくれたことは「かもめ」の仲間の８年間があったからかもしれない。

・連絡先　〒299－51 夷隅郡御宿町浜285　TEL・FAX 0470-68-3529

ちばエコリーダー推進会

見学記“百聞は一見にしかず”　　木野村　秀夫

当エコリーダー推進会では東京電力環境部とも連絡をとり、東京湾岸に12ヶ所もある熱動率50％の火力発電所の内、環境に配慮されている袖ヶ浦火力発電所を見学、排水口の海水温度９℃上昇でボラが群泳している状況等々を見学、事後の反省会での意見や希望等に対し書面で回答を得ています。

又、11月には富士フィルムの生産工程における化学処理と水の関係、フジゼロックスの事業所内は勿論のこと全国54ヶ所からのペットボトルの100％リユース、小部品に至る迄のリユース、リサイクル状況を百聞一見にしかずと箱根大雄山麗の実地見学を行い、所内34種・市場からの33種計67種の分別分類、部門管理、事務部門での10種に及ぶ収集リサイクル、梱包用ダンボールのリサイクルに至る迄システム化され、再利用率23％、原材料化54％、燃料化（将来原材料化検討中）23％で環境ISO取得の成果を具さに見聞し感銘して、箱根の秋の素晴らしい紅葉を垣間見て新幹線の人となった。写真はその時のものです。

「トンボを育てる会」の皆さん

今後共、企業のみならず行政共一層連絡を密にしつつ自己研さんを通じて寄与してゆきたいと念願して居ります。

・連絡先　〒264 千葉市若葉区大宮台6-7-5　TEL・FAX 043-262-8006

環境パートナーシップちばの
ロゴマークができました

いてなことやっていま
地球と宇宙と人間と
ー団体会員の活動を紹介ー

ファイバーリサイクルネットワーク

代表　三井田　秀子

「ＦＲＮちば」では千葉県内で古着の回収事業を行い３年目になりました。年に４回、回収拠点に古着を持ちより、それを回収業者とボランティアが回収していきます。

花見川区にある回収拠点のようす

どこの家庭からも出る古着をゴミにしないで、100％有効利用するという環境面はもちろん、活動の目的を、パキスタンのスラム地区にある一つの学校を支援することに重点を置いていることが人々の共感を得、現在11市、435拠点で活動が展開されています。

活動を始めるまでは気にも止めなかった古着の行方を追ってみると、社会の中に見事な回収システムが出来上がっていることがわかりました。また、パキスタンとの交流から、この国の貧富の差、気候、イスラム教のことなど国情が少しずつ理解できるようになりました。

来日したアルカイールのメンバーとFRNちばのメンバー
（古着の直接輸出の時のもの）

活動もやっと軌道に乗ってきたところですが、参加している人たちの思いを大切にしながら、古着を通して見えてくる社会の在りようを受け止め、事業を確立していきたいと思っています。

・連絡先　〒262 千葉市花見区検見川町3-370-25-201
TEL・FAX 043-272-7519

トンボを育てる会

薮内　俊光

トンボを育てる会は1994年２月に発足しました。

会の目的はトンボを通じて、失われた自然の復元、維持、創造を図る、また会の活動を通じて、ネットワークづくりを行うことです。活動内容は①４年連続でヤゴ救出作戦を市内近郊のプールで実施、現在では船橋市全域の小学校・周辺市町村でも実施されています。（救出したヤゴは自宅で羽化させトンボになります）②船橋市の長津川調節池で体験トンボ池づくりを実施（50㎡）③船橋市内を流れる金杉川でせせらぎの川づくりを実施（堰を設けてその中にヤクルトの空容器35,000個を投入）汚泥の流出をＳＴＯＰ(基層の砂質層が表れました：イオン財団の助成)。④市内の高根小学校で雨水を利用したビオトープづくりを実施（当会の企画、児童、ＰＴＡ、工務店の参加：日野自動車グリーンファンドの助成）現在、水路として利用したU字溝とワクワク池には水草とメダカが泳いでいます。

⑤次年度は上総掘り（井戸掘）とビオトープづくりを組合わせた楽しい公園活用に挑みます。あなたも参加しませんか!!!

・連絡先　〒273 船橋市上山町3-634-22（大西方）TEL・FAX 0474-39-8361

エコフレンド

平田　恵美

エコフレンドは、昨年４月、千葉県「エコマインド養成講座」修了生を中心に、講座で学んだことを生かし、自らも学びながら見近なところから働きかけていきたいと設立されました。ひとりひとりの力は小さいけれど、みんなで行動したり、悩んだり、勉強したりすれば、もっと大きな力につながるかもしれないと、何にもないところから始まったエコフレンドでしたが、元気で明るい鈴木智子会長を個性豊かな若者５人が支え、知恵者ぞろいのおじさん、おばさんが後押し、こどもたちが花をそえるというユニークな理想の構図ができました。

1997.10.26 印西市のケナフ畑　お花見と刈り取り

昨年は、ケナフの栽培から紙すきに取り組みました。夏には雑草と悪戦苦闘しましたが、10月26日にみごとに咲いたケナフのお花見と刈り取りを、外部からの参加者と一緒に楽しみました。今年はこの刈り取ったケナフを利用して、パルプ化や紙すきのマニュアルが作れるよう、さらに研究したいと思っています。

できたばかりで、何もわからぬ私たちが、昨年、さまざまな活動ができたのは、環境パートナーシップちばのみなさまはじめ、千葉県環境財団、県環境部などの多くの方々のおかげであったと一同感謝しています。今年は、さらに勉強し、活動の方向も、活動の輪も広げていきたいと思っています。

・連絡先　〒273千葉県船橋市夏見台1-2-2-103　平田方　TEL 0474-39-2130 FAX 0474-39-0650

手賀沼にマシジミとガシャモクを復活させる会

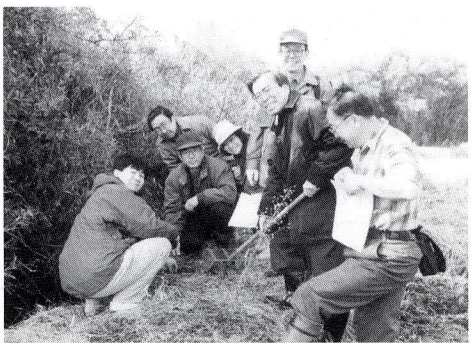
川原　啓佑

当会は、昨年４月「市民・専門家・行政が一体となって自然循環により手賀沼を蘇らせるため、シンボルとしてのマシジミとガシャモク（水草）を手賀沼に復活させること」を目的として発足しました。現在会員が40人で、活動内容は

１．マシジミとガシャモクの①手賀沼一帯と他県遠隔地調査②培養実証

２．手賀沼ヘドロの①先端手法による回収実験②回収ヘドロの堆肥化、高品質土壌化の検討実証に取組んでいます。

私達の会の特色は、市民が中心で楽しみながら活動するけれども、専門家と一体となり行政とも充分連繋する点にあります。水質ワーストワンの難物手賀沼の浄化は①行政はじめ各方面との総合戦略が必要であり、②かつ素人ワザでは手に負えず、強力な専門知見と資金活動力を結集してこそ実効が上り③何より、汚した市民も汗をかくことにより、今後の本格的行政施策への「呼び水」とすることが大切だと考えているからです。



幸い、水環境学会幹部、中央博物館等々の有力専門家、各行政当局、環境助成金等の理解強力も得られ、すべり出して半年余り、何とか初年度重点目標（他県７地域の調査交流等々）は目鼻がつき、ヘドロ対策については昨秋ＮＨＫ、朝日等５紙にも取り上げられましたが今後が大変です。今年からは行政と一体となって公有地ビオトープ作りの一端を担うことも検討されつつあります。

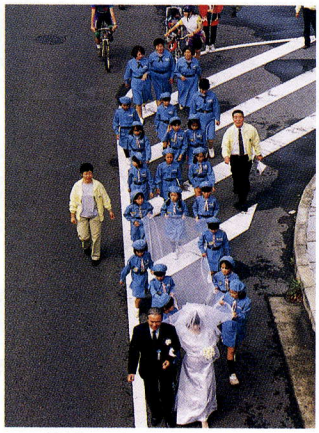
今後とも県内市民団体はじめ各方面との連繋・教示を仰ぎながら、自然循環再生へのささやかな挑戦を続けますのでよろしくお願い致します。

・連絡先　**事務局長　山木健一　沼南町大津ヶ丘3-1-5-306**
TEL・FAX 0471-91-7568

環境活動の見本市　エコメッセちば1997より

パートナーシップちば では、10月４日に「エコメッセちば」にてパートナーを求めてパレードに参加しました。また缶バッチづくりコーナーも子供達に大好評でした。環境なんでも相談コーナーには

山本真理（県大気保全課（TEA-NET））
有馬富穂（環境カウンセラー）
知念正晴（　　〃　　）
長沼　明（〃市川市環境保全課）
今井美枝子（県環境教育研究会）
石井　晧（県環境研究所）



の方々が相談員としてご協力下さいました。また、10月18日には環境グループのパネル展も開催しました。

研修部会よりお知らせ

部会長　加藤　賢三

(1)もっと知ろうダイオキシン！
「リスクアセスメント」
日時：平成10年１月24日（土）１時～４時
場所：千葉県教育会館

(2)見学・訪問シリーズ１「日大環境科学研究会」
日時：平成10年２月21日（土）１時～４時
場所：日本大学理工学部船橋校舎

(3)手賀沼浄化作戦
日時：平成10年３月15日（日）１2時半～４時
場所：手賀沼親水広場内
共催：水環境学会（交渉中）？

環境相談窓口を開設しました。！

（FAX専用：043-433-0987）

「自分らしい活動を自分自身で見つけ、行動していく」ための相談窓口です。こんなことやりたいんだけど…とか、仲間はいませんか…などの積極的なご相談にお応えします。お気軽にご相談ください。
問合わせ：ちば環境情報センター
TEL 043-266-0388　小西
（本事業は環境庁環境パートナーシップ推進事業の協力を得ています。）

イベント案内

親子でDayキャンプ

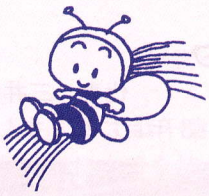
冬の一日、自然の中で親子一緒に楽しく環境のことを考えてみませんか。
日　程：２月22日（日）
場　所：房総のむら
参加者：親子20組
問合せ：(財)千葉県環境財団
　　環境学習推進室
TEL 043-224-2691
FAX 043-224-2522

こどもエコクラブ

日　時：４月16日（日）
　　午前10時～15時
場　所：市原　おびつ川周辺
参加費：問い合わせ
連絡先：扇屋ジャスコ
　　環境･社会貢献活動事務局
電　話：043-298-8530　入江
ＦＡＸ：043-298-8530

おんじゅくまるごとミュージアム

－自然とアートとミュージックで楽しむ春のおんじゅく－
日程：３月21日（土）～29日（日）
町中ギャラリー，町中ウオッチング
町中スケッチ，町中スナップ
町中クリエイト，ふわーっとほーっと
楽しみにやってきませんか。
主催：御宿町おこし実行委員会
問い合わせ：
リサイクルグループ「かもめ」
TEL 0470-68-3529（永島）



回　遊　魚

「グリーンコンシューマー全国ネットワーク」ができました。

消費者が環境に配慮した商品を買うことで販売者や生産者をも変えていくことができる。まさかと思うけれど、そんな意識が常識になるようなうねりをつくっていくことが今の私たちにできることではないでしょか。食事をしたり、テレビを見たり、そんな何げない普段の暮らし（消費活動）が、ダイオキシンの発生や地球温暖化に直結しているのです。使うものと作るものとが出会い、解決に向けて声をあげ共に考え力を合わせていく、ここにもパートナーシップの大切さを感じます。

小西　由希子

編集後記

やっとのことで新年号が発刊できた。

これも印刷屋のお陰と深く感謝する。

とんぼの姿が見えなくなったと思ったら、やたらとひよどりが目に付く。我が家の数本の柿の木はまだまだ沢山の実をつけている。きのうも、メジロが群れをなして遊びに来た。シジュウカラも来た。冬鳥の観察心に駆られるが、次の会報のネタ探しもやらねばとも考える。

一人でも多くの人に読んで貰いたいと思いつつ、原稿を頂いた方々に心から御礼申し上げます。（編集長　横須賀）

『次号記事の予告募集』

①団体会員の活動状況を各号４団体程度（写真も）②各種シンポジウム及び研修会等に参加しての投稿原稿とスクープ写真を募集します。
申し込み先　編集部 FAX 043-224-2522 横須賀・小西まで

ただいま会員募集中！！

各種のイベント案内や会報等の無料配布の特典があります（FAXにてお申込みも結構です）

入会申込み書		年会費：個人1,000円　団体2,000円
会の趣旨に賛同し会費を添えて入会します		
氏　名		所属団体等
住　所		
電話番号		FAX
申込み先	TEL０４３-２２４-２６９１	FAX０４３-２２４-２５２２
会費納入先	郵便振替口座　００１６０－９－４０１８７２	環境パートナーシップちば

この「環境パートナーシップちば」だより は再生紙を使用しています。